

『陰陽と光陰』

サンモア独自の効果

アーチー光線療法には他の治療では得られない効果がありま
す。それは生命の誕生と進化に

卷三十一

さて現に生息しているあらゆる生命は、太陽光線の恩恵を受けています。中でもよく知られているのは、食物で補うことが困難なカルシウム調節ホルモンのビタミンDを紫外線が過不足なく補い、自然治癒力の根幹をなすことです。ですが、太陽光線には他に即効性の鎮痛効果から痒みを止める効果まで幅広い効果があります。換言すれば、太陽光線の作用を応用するサナモア光線療法は、身体に備わった諸機能を正しく働くようにすることによって体質から改善し健康体に導く

私は終わりを告げた二十世紀の医学は、薬の効果で症状をなぐす対症療法が全盛を極めた世纪と考へています。薬には効果と副作用があるため、診断が確定しないと使えません。そのため診断と治療が結び付くのが科学的な医学と殆ど的人が考へていますが、対症療法は病人自身の自然治癒力が働いて病気が治まるまでの時間稼ぎをしている部分が大きなウエイトを占めています。言うまでもなく対症療法に自然治癒力を高める効果はありませんので、高齢者の腰や膝

生活習慣にサナモア

付くほどではないが虚弱で健康に自信のない人は健康に自信が持てるようになり、病人では病気を克服する自然治癒力を高め る効果があります。

の痛みは年だから治らないと決め付け、皮膚病は治ったように見えても再発を見えて、繰り返すのが日常化しています。

すれば、生活習慣病の予防策等として必ず役立ちますので、是非ともサナモマを生活習慣に取り入れてください。

発行所
〒153-0063
東京都目黒区目黒
4-6-18

サナモア光線協会
年4回発行
会費年500円
電話 東京(03) 3793-5281
3712-5322

他の治療法にない効果

サナモア光線協会の方向性

医学博士 宝都宝

國子南士

医学博士 宝都宝 光明

光明

サナモア光線協会
サナモア中央診療所
医学博士 宇都宮

サナモア光線
治療院の展開

サナモア光線
協会はサナモア
光線療法の治療
医学における效
果をご理解いた
だく一助にサナ
モア光線治療院
を開院し、限ら
れた時間内でも
充分な光線を浴び
るため（閉鎖空間）
間前後照射するルーフ式マルチ
アーク療法を行っています。こ
とで足裏と膝だけでも各10分から
20分照射することを生活習慣病に
して必ず役立ちますので、冒
が、常にサナモアを身近に置い
て見直すことで成人病の発病を防
ぐ方向に政策を転換し生活習慣病
と呼ぶことを提倡したのです
すれば、生活習慣病の予防対策
として必ず役立ちますので、冒
非ともサナモア
を生活習慣に取り入れてください。

の治療法は照射部位が全身に及び照射時間が長くなるリウマチやアトピー性皮膚炎に応用するのに便利であり、ルーフ内での熱気浴の作用も加わるため優れた効果があります。無論、サナモアは高齢者の腰や膝の痛みは年だから治らないと決め付けませんし、皮膚病は治ったように見えても再発を繰り返すことがないように治療します。

謹賀新年

平成十三年元日

サナモア光線協会

(五日より営業します)

モア光線治療院を開院し、限られた時間内でも充分な光線を浴びられるよう四台から五台の光線治療器をルーフ内（閉鎖空間）で使って45分間前後照射するルーフ式マルチアーチ療法を行っています。

第12回

日本療術学会

か
ら

宮城県松島海岸・ホテル大観荘
平成12年11月5日、6日

シンポジウム

光線療法による腰治療

腰治療



全療財団光線部門
代表世話人 宇都宮光明

即ち透過性のある深達性の深部温熱作用に基づく鎮痛消炎効果から、紫外線の光産物を生成する光化学作用、例えビタミンDの生成によるカルシウム調節作用まで、あらゆる生物学的作用を同時に利用する治療法である。

今回は光線療法による腰治療の要点について説明する。

腰の病気

表1に腰痛の主な原因疾患を示したが、腰には些細なことが過重な負担になるため、腰痛を

椎間板ヘルニアが多い。これは二十歳代になると椎間板の線維輪の弾力性がなくなり亀裂を生じるが、髓核は水分を十分に含み弾力性があるため、線維輪の亀裂から髓核が脱出し神経根を圧迫するためであり、左右どちらか片側の坐骨神経痛の症状を伴う。中高年層では腰椎の老化に伴い椎間板の水分が減少し薄くなるため、椎体と椎体が直接ぶつかるようになり、関節裂隙の狭小化、骨棘形成を伴う腰部変形性脊椎症が多いが、

特徴的な症状は動き始めに腰痛を訴えることである。この変形性脊椎症が多いため、椎間板狭窄症、馬尾神経性間歇性跛行という特徴的な症状を示すものが腰部脊柱管狭窄症である。閉経期後の女性で腰にたえず重苦しい痛みがあるようなら脊椎の骨粗鬆症が関わっている可能性があり、椎骨が

来たす疾患が多い。腰痛、ギックリ腰などから、二十歳代から三十歳代の若年層の男性で腰椎に限局しているか、痛みが下肢に放散しひれがあるかは、原因疾患の鑑別診断や重症度の判断に重要である。

腰治療に対する光線療法の効果

光線療法は腰背痛を来たす殆どの疾患で腰背痛の緩和に即効的な効果がある。これは腰部に光線を照射すると、主として近赤外線の透過性のある深達性の温熱作用によって腰部の深部体温が局所的に上昇するため、循環する血管が拡張し、血流を増加させるため、炎症に伴う血流循環障害を改善し、筋緊張を弛緩して、即効性の鎮痛消炎効果をもたらすからである。この作用は深部温熱作用を持つ作用

スペクトル量、主として近赤外線量と照射時間の積と相関関係があるため、効果的に使用するには一回の照射時間を長めにする必要がある。その上で反復使用することで自然治癒力を高め、治癒を促すのである。

加齢による骨の粗鬆化は避けたい面があるが、骨粗鬆症が

腰痛の原因疾患

- (1) 腰痛症
- (2) ぎっくり腰（急性腰痛症）
- (3) 腰椎椎間板ヘルニア
- (4) 変形性脊椎症
- (5) 腰部脊柱管狭窄症
- (6) 脊椎分離症/脊椎すべり症
- (7) 骨粗鬆症
- (8) 強直性脊椎炎
- (9) 癌の腰椎転移

表1

腰痛の原因疾患
(1) 腰痛症
(2) ぎっくり腰（急性腰痛症）
(3) 腰椎椎間板ヘルニア
(4) 変形性脊椎症
(5) 腰部脊柱管狭窄症
(6) 脊椎分離症/脊椎すべり症
(7) 骨粗鬆症
(8) 強直性脊椎炎
(9) 癌の腰椎転移

一般に療術で用いられるカーボンアーケ灯は、温度輻射の原理で最も太陽光線に近似したフルスペクトル光線を連続スペクトルで放射する。従ってカーボンアーケ灯による光線療法は、すべての作用スペクトルを応用する治療法であり、主として近赤外線の輻射熱による物理作用、

表1に腰痛の主な原因疾患を示したが、腰には些細なことが過重な負担になるため、腰痛を

伴う。中高年層では腰椎の老化

に伴い椎間板の水分が減少し薄

くなるため、椎体と椎体が直接

ぶつかるようになり、関節裂隙

の狭小化、骨棘形成を伴う腰部

変形性脊椎症が多いが、

特徴的な症状は動き始めに腰痛を訴えること

である。この変形性脊椎症が多いが、

特徴的な症状は動き始めに腰痛を訴えること

である。

(2ページからつづく)

なおビタミンDは光線医学の観点から、基本照射30分が必要量は確保できると考えられる。

腰治療の要点

光線療法は家庭療法としても用いられるが、この際には一台の治療器で治療されることが多い。この際の腰治療の基本的な照射法は、腰部の血流の増加に基づく鎮痛消炎効果、筋弛緩効果を主眼にするため、まず足裏、足甲、ふくらはぎ、膝前後などに照射して下半身の血行を全体的に促してから腰部に照射すると効果を得やすい。なお前述したように鎮痛消炎効果は近赤外線量と照射時間の積との間に相関関係があるため、照射時間は一箇所最低でも10分以上、足裏や腰は20分から30分以上照射し、通常、多灯照射が用いられていく。

一方、光線療法を専門とする治療院では、限られた治療時間内に効果的な治療を行うため、通常、多灯照射が用いられてい

る。多灯照射には、照射部以外に密閉した閉鎖空間で行う方式がある。前者をアンルーフ式マルチ・アーク療法、後者をルーフ式マルチ・アーク療法と呼んでいるが、後者はアメリカのケロッグがエジソンの発明した白熱電灯を用いて一八九四年に創案した温熱療法、即ち頭部のみを外に出してトンネル状の閉鎖空間内で臥位になり、白熱電灯を点灯して閉鎖空間内の温度の上昇による熱気浴と透過性が大きく

写真 (左上) はルーフ内で四台から五台の治療器を用いて30分から60分間多灯照射する治疗方法を示したが、サナモア光線治療

(1) 光線の温熱作用を最大限に利用する。
 (2) ルーフ内は乾熱で温度は熱気浴の半分以下であるが、温度は低下するため、近赤外線の汗腺、皮脂腺の分泌を促す作用で大量に発汗する。
 (3) 本療法で全身的に体温が上昇するため、照射部の深部体温を均一化する体温調節作用が強く働き、照射部の血管拡張、血流増加を著しく促進する。その結果、炎症に伴う循環障害を改善し、筋肉を弛緩し、炎症物の吸收、排泄を促し優れた鎮痛消炎効果を認める。
 (4) 体温の上昇はモルヒネ様物質の分泌を促し、鎮痛消炎効果を高める。

の50度以下であるが、温度が下するため、副交感神経の刺激と位置付けて行っている治療法である。腰治療の場合、同時に五台の治療器を足裏、膝前後、腰、腹にセットし、患者の年齢、病状、一般状態、治療に伴う反応などに注意しながら原則として30分から60分照射する。この間、診察所見によって照射時間を調整し、照射部位を変更、追加することがある。ルーフ内は乾熱で温度は通常の熱気浴サウナに比べ半分以下

表2にルーフ式マルチ・アーク療法の温熱療法としての利点をまとめた。

総括ならびに結語

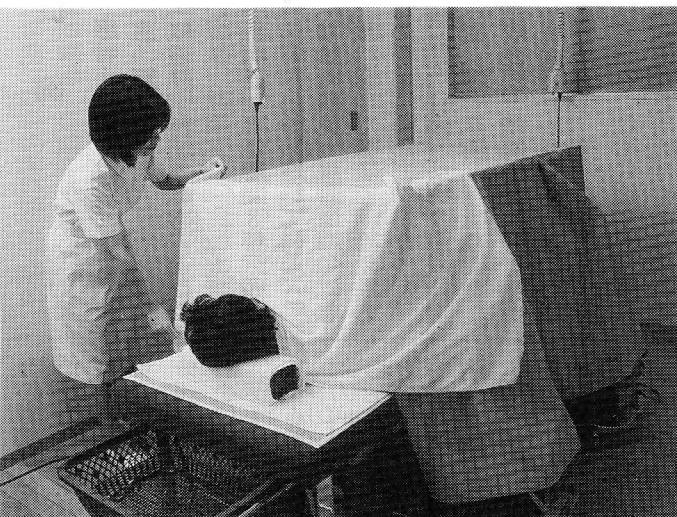


表2

ルーフ式マルチ・アーク療法の温熱効果

- (1) 光線の温熱作用を最大限に利用する。
- (2) ルーフ内は乾熱で温度は熱気浴の半分以下であるが、温度は低下するため、近赤外線の汗腺、皮脂腺の分泌を促す作用で大量に発汗する。
- (3) 本療法で全身的に体温が上昇するため、照射部の深部体温を均一化する体温調節作用が強く働き、照射部の血管拡張、血流増加を著しく促進する。その結果、炎症に伴う循環障害を改善し、筋肉を弛緩し、炎症物の吸收、排泄を促し優れた鎮痛消炎効果を認める。
- (4) 体温の上昇はモルヒネ様物質の分泌を促し、鎮痛消炎効果を高める。

光線療法による腰の治療は、腰部の血行を促して炎症に伴う循環障害を改善して炎症物の吸収、排泄を促し、筋肉を弛緩し、痛みやしびれなどの症状を和らげることから始まるが、継続反復することで自己の治癒力を引き出し、骨や筋力を強化し、治療に導くことにある。光線療法はこれらの点で効果的に作用することを述べたが、最後に腰治療には光線療法に加えて、腰痛体操やウォーキングで腰部や下半身を鍛えることの重要性を強調したい。

第12回

日本療術学会から

宮城県松島海岸・ホテル大観音
平成13年11月5日、6日子宝に患まれる
サナモアで社団法人 神奈川県療術師会
海渡 一二三

症例

患者1 30歳 女性 主婦

【主訴】不妊

【既往歴】特記すべきことはな

い。

【現病歴】不妊期間3年、卵管通過障害と診断されている。

【初診時所見】患者は顔色は悪

く疲れ切った様子で、冷え性の

ため手足は異常に冷たかった。

患者2 41歳 女性 主婦

【主訴】不妊

【既往歴】慢性腎炎

【現病歴】不妊期間9年、月経は不規則で、排卵障害と診断さ

れている。なお妊娠で慢性腎炎が悪化する可能性を指摘されて

いたが、患者はあくまでも子供

が欲しいと来所された。

【初診時所見】患者は瘦せて弱々しく、病歴から妊娠、分娩の希望はかなえられないと治療を始める前に話したが、それでも治療を希望するので、まず3ヶ月間治療して経過を追うことにした。

治療方法

生殖可能な年齢の夫婦が正常な夫婦生活を営んでいるにもかかわらず、3年以上妊娠しない場合を一般に不妊症と見なすが、不妊因子はなく、女性不妊因子で妊娠は困難と診断された二症例に光線療法を行い、妊娠に成功したので報告する。

カーボンはAとBやBとDを組み合せて用い、四台ないし五

患者1は毎日治療を続けて三ヶ月目に妊娠が分かり、それからも治療を受けたが、軽いつわりがあつただけで順調に経過し、元気な赤ちゃんを出産した。産後も継続して治療をしたが、冷え性は著しく改善し、母乳の分泌も良好であった。その後、年子で3人の子宝に患まれ、今は家族の健康管理に光線療法を愛用している。

患者2は治療を始めて二ヶ月頃より自覚的に改善の兆しが表れ、三ヶ月後には少し太り気力が出てきた。患者の希望でその後も治療を受けたが、八ヶ月後には卵管が上行感染の経路になりやすく、そのため卵管炎や骨盤

一台の治療器を使って多灯照射した。治療は側臥位で臀部、腰、膝に各10分、次いで後頭部、下腹部、膝裏、足裏に各15分照射してから、仰臥位で集光器を付け、左から甲状腺部、右から肩、左から腰、右から膝、左足首に各10分照射、次に反対方向から各10分照射した。なお症状によって照射部位を追加した。

結果

既婚婦人の約10%前後は不妊に悩んでいるとされるが、原因の2/3が女性不妊因子、すなわち排卵、受精、着床と言った過程のどこかが原因とされる。演者は光線療法は生理的に内分泌機能を調整し、回復力、治癒力を増強して不妊因子を治すと考え、これまでも不妊症の治療に応用し、不妊症に悩んだ人が妊娠に成功した経験を数多くしてきた。

患者2は高齢で不妊期間が9年と長く、妊娠しても慢性腎炎が悪化すれば妊娠を継続出来ない事態も予測されたため、治療前に希望はかなえられないかも知れないと話したが、患者の強い希望に押され、子宝に患まれる可能性はゼロではないことにかけ、互いに全力を尽くすことを約束して治療したのが実を結んだのである。

なお二症例とも妊娠が分かつてからも光線療法を続け、妊娠悪阻、妊娠中毒症とも極めて軽く済み、産後の回復も順調に経過した。

以上、子宝に患まれた二症例

で診察を受け妊娠が分かったのである。その際、医師から腎炎のため妊娠を継続できる確率は五分五分と判断を求められたが、患者は妊娠の継続を強く希望して治療を受けた。その結果、女児を無事出産し大いに感謝された。産後も治療を続け見違えるほど元気になった。

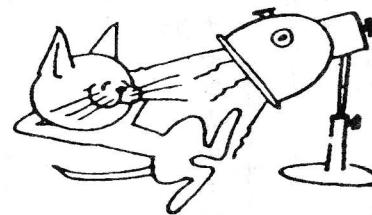
周囲に慢性の病気があって卵管が不通になつた不妊なら、日光療法で妊娠する可能性がある」と記述されており、この患者の場合も卵管が開通したと考えている。

患者2は卵管通過障害と診断されたが、女性不妊因子の約40%は卵管通過障害によるとされ、卵管不妊と言われる。その理由は卵管が上行感染の経路になりやすく、そのため卵管炎や骨盤

腹膜炎を起こし、卵管の癒着、閉塞を容易に起こすためである。しかし富士見高原日光療養所において日光療法で多くの業績を残した正木博士は、「子宮

を自覚、独りで歩行できず、人に支えてもらい帰宅した。翌日も同様の状態で、二日間、臥床にて様子をみたが軽快しないため、近医の整形外科を受診、そこで、腰椎椎間板ヘルニアと診断され、消炎鎮痛剤と筋弛緩剤の内服で様子をみると言われたが、同僚に光線療法を勧められ来所した。

☆腰椎



治驗例報告

して照射した。次に、A-Bカーボンを使用して、腹部を10分、膝を10分、足裏を20分照射。治療後、痛みが和らぎできた感じがすると言つて帰宅した。翌日

二回は照射すること、特に腰部の腰だけは、朝、昼、夜と一日三回照射することを指示した。一日毎に痛みは軽くなり、四日目には仕事に復帰し、軽作業は可能となつた。一週間後、それまで時々感じていた重苦しい痛みも消失。毎日、自宅で腰部を一時間以上照射する治療を一ヶ月続けた頃、どんな作業も支障なくできるようになった。現在、発症後二年になるが、再発は認めないと来所された。

★胃癌の転移

症例 73歳 男性 会社社長
一年前、胃癌を指摘さ

を自覚、独りで歩行できず、人に支えてもらい帰宅した。翌日も同様の状態で、二日間、臥床にて様子をみたが軽快しないため、近医の整形外科を受診、そこで、腰椎間盤ヘルニアと診断され、消炎鎮痛剤と筋弛緩剤の内服で様子をみるように言われたが、同僚に光線療法を勧められ来所した。

療法経過 平成十一年八月、三台または四台の多灯照射で開始。

☆肩関節痛

の腰だけは朝晩夜と一日毎に痛みは軽くなり、四日目には仕事に復帰し、軽作業は可能となつた。一週間後、それまで時々感じていた重苦しい痛みも消失。毎日、自宅で腰部を一時間以上照射する治療を一ヶ月続けた頃、どんな作業も支障なくできるようになった。現在、発症後二年になるが、再発は認

三回照射することを指示した。

以前から職業柄、肩を使つことが多く、肩こりで困つてゐたが、最近、肩の痛みが増強したため整形外科を受診。レントゲン検査にて、肩関節に突出した軟骨を認め、それが当たると痛みを感じると説明を受け、医師から手術を勧められたが、本人は手術がいやで、サナモア光線療法で治したいと来所され

神戸市
ウエノ光線療研
上野 健太郎氏報告
TEL 〇七八一三三二一三五八

カーボンは、最初、BDカーボンを用い、状態が改善してから、ABカーボンに変更した。側臥位にて、顎面10分、左胸部（食道と左肺癌）30分、腰から臀部に30分、膝10分、足首10分、腹10分、後頭部10分、足裏10分を同時照射。次に、仰臥位にて、右顎面10分、左胸部20分、右側腹10分、左膝側面10分照射し、最後に、左顎面10分、右胸部20分、左側腹10分、右膝側面10分

照射した。治療は、毎日行つたが、徐々に食欲も改善し、調子もよくなり、翌年の二月には、体重が三キロ増加し、四月には五キロ増え、八月に施行した東院の検査でも異常は認めなかつた。現在はとても良好に経過しており、当院にも時々通院されている。

療法経過 治療はABカーボンを使用し、肩関節を前後から照射開始したが、約20分経過した頃から、徐々に痛みが強くなり、てきいたため、BBカーボンに変

サナモアカーボンの
類似品にご注意下さい

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの種類名の A, B, C, D を併記。直印

ボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せかけて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもどる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持てませんので呂タクもご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましてお問い合わせ下さい。

(株)東京化織病憲研究所

照射した。治療は、毎日行つたが、徐々に食欲も改善し、調子もよくなり、翌年の二月には、体重が三キロ増加し、四月には五キロ増え、八月に施行した病院の検査でも異常は認めなかつた。現在はとても良好に経過しており、当院にも時々通院されている。

川崎市 東京光線治療院
TEL 044-722-5067
海渡 一二三氏報

了した。一週間に二回、計六回の治療で、痛みはほぼ軽快し、夜もよく眠れるようになった。以後、在宅治療を希望されたため、BCカーボンで治療するように指示したが、半年後に来院された際には、痛みは全くなく通院もされていなかった。

山崎 いづ子報
五八一一〇三一
五七二一五七

サナモア光線治療院

順調な滑り出し

平成十二年九月一日に開院した治療院には、ご愛用者を中心に多くの方が来院され、順調な滑り出しを見せています。

宇都宮 正範

名を加えて七名で行いましたが、今年も、随時開講する予定です。

サナモア便り

vol.4

第四回 「光と熱研究会」の お知らせ

サナモア光線治療師、サナモア愛用者を対象に医療に関連した講演や治験例の報告を中心とした研究会を開催しますので是非ご参加ください。

日時…一月二十日(土)午後二時
場所…サナモア光線治療院
三階会議室

院長…田村 元一先生
一言…一人一人を大切に治療させて頂きます。
あさか治療院(写真中)

(十一月二十五日開院)
電話…〇四八一四七四一四七八二
住所…朝霞市宮戸一十九四
人形のハイツ一階
交通…東武東上線志木駅から徒歩十五分

◆募集◆

サナモア光線治療師 サナモアカウンセラー

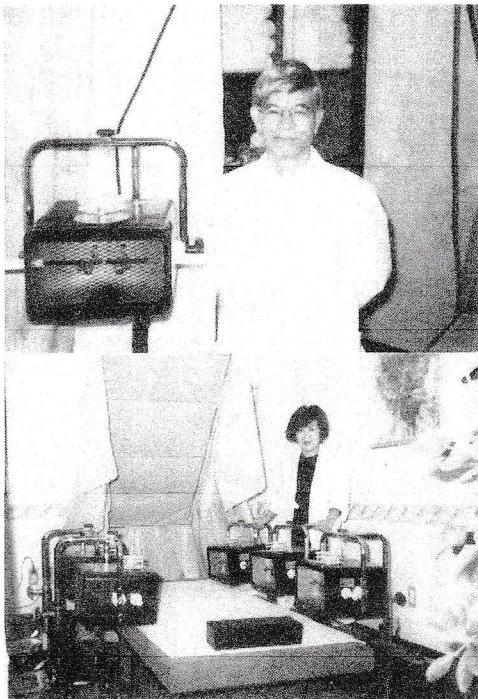
当協会の趣意に賛同され、
サナモア光線療法の普及に
ご協力頂ける方、治療院の
開業を検討なさりたい方は、
サナモア光線協会までお問
い合わせください

〒153-0063
東京都目黒区目黒4-6-18
TEL (03) 3793-5281
3712-5322

で、ご来院をお待ちしております。

第三期 サナモア光線治療師 養成講座を開講

第三期サナモア光線治療師養成講座を、十一月十七日、十八日、二十四日、二十五日、十二月八日、九日の六日間、サナモア



住所…神戸市垂水区西舞子四一
二十七一十八
交通…JR舞子駅よりバス三分
「舞子坂一丁目」バス停
下車徒歩三分
院長…増本 典子先生
一言…光線治療の優れている点
を出来るだけ多くの人たち
に伝えたい。
ご来院、ご紹介をお待ちして
おります。

院長…麻生 律子先生
一言…自分自身の治療体験を活
かし、皆様のお役に立
つよう頑張ります。

Office Mate
サナモア光線治療研究所
(写真下)
(十二月九日開院)
電話…〇七八一七八一十九四〇
住所…ハウス大歳山西五〇八号
「舞子坂一丁目」バス停
下車徒歩三分
院長…増本 典子先生
一言…光線治療の優れている点
を出来るだけ多くの人たち
に伝えたい。
ご来院、ご紹介をお待ちして
おります。

治療院紹介

松戸光線治療院(写真上)

(十一月十五日開院)

電話…〇四七一三六八一四七三七

住所…松戸市上本郷四一〇一

交通…JR北松戸駅から徒歩十五分

ア光線治療院で開講しました。

今回は、東京近郊の四名に、神戸市、富崎市、岡谷市からの三

名を加えて七名で行いましたが、今年も、随時開講する予定でい

ます。

はじめに

人類の生活様式を一変させた二十世紀が幕をおろし、新しい世纪が始まります。この百年、医学を含めたあらゆる分野において科学技術は、とてもなく進歩しましてが、地球環境をがらりと変えてしまったような環境汚染や人類に犯罪面の影響をおよぼす可能性のある遺伝子操作など、将来に対する不安材料が山積しています。昨年、米国において、女性モデルの卵子のインターネット上で競売が行われ、話題となりました。遂に卵子までもが、ビジネスの対象になってしまったのかという感じですが、ホームページ上には、ハーモニーネット上での競売のモデルの顔写真が掲載され、競りは約百六十万円から始まり、上限は約十六百万円に設定されました。さらに、あることがいました。さらには、卵子を造る計画を発表した団体もあり、最先端の科学技術を、人類の欲望のまま利用することに対し、歯止めをかけなければならぬ時期に来ています。

遺伝子と環境因子

遺伝子の構造は、一九五三年、

ワトソンとクリックによって解明されました。彼らは、遺伝子DNA(デオキシリボ核酸)が二重らせん構造をとつており、巧みな仕組みで複製される機序を明らかにしました。DNAには、顔の形や体格、将来の病気との関係など、膨大な情報が書き込まれておらず、世界の研究者は、協力してヒトの遺伝子配列を解明かしていきます。そして次には、遺伝子地図を元に、

遺伝子検査の弊害

すべての遺伝子配列が明らかに

され、病気の原因遺伝子が特定されたらどうなるのでしょうか。実際に、すでに米国では、数百もの病気の遺伝子検査が実用化されていましたが、万が一、この検査で病気の遺伝子が見つかることになると医療保険の加入や就職に不利に働く可能性があるでしょう。また、遺伝子の情報がもとで偏見や差別を生み、自分が将来かかる可能性のある病気を、患つ前から心配

常と病気との関係を調べ、遺伝子治療に結び

つけようとしている訳ですが、なかなか簡単にいかないでしょう。なぜなら、病気は、遺伝因子と環境因子が複雑に作用して発症するので、たとえ病気の遺伝子が特定されたとしても、それだけで、病気の治療に直結するわけではなく、生活習慣を含めた環境も考えなければならないからです。

遺伝子操作の光と影

サナモア光線治療院

宇都宮 正範

た遺伝子を有する

は、生命が地球上に誕生した奇跡

を振り返り、人類を含めた生物全體の生態系を守り、本来あるべき姿に近づける必要があると考えます。つまり、生物が進化し、生き残るために、地球に存在する生物は、環境の変化に対応し生き延びるために、突然変異を繰り返し、少しでも遺伝子のバリエーションを増やすように努めているからです。もし人類が、自らの手で遺伝子をコントロールすることによって、遺伝子のバリエーションが少なくなる方

され、病気の原因遺伝子が特定されたらどうなるのでしょうか。実際に、すでに米国では、数百もの病気の遺伝子検査が実用化されていましたが、万が一、この検査で病気の遺伝子が見つかることになると医療保険の加入や就職に不利に働く可能性があるでしょう。また、遺伝子の情報がもとで偏見や差別を生み、自分が将来かかる可能性のある病気を、患つ前から心配

人類の危機

米プリンストン大リー・シルバー

二十世紀の医学は、人体をパ

ツに分けて、臓器から組織へ、そして細胞から遺伝子へと研究を進めてきました。そして、新しい世纪は、遺伝子に関連した様々な研究が行われることと思いますが、恩恵だけを人類にもたらすとは限りません。誤った使い方をすれば、人類の未来を危つくる恐れもあるのです。

新しい世纪

教授は、著書「複製されるヒト」の中で、人類は、将来、優れた遺伝子を集めた「ジーン・リッチ」階層と持たない「ナチュラル」階層に「極化すると述べておられます。私は、未だの人が遺伝子操作を行って、優れた遺伝子を有する

子供を競つて造ろうとしたなら、その時、人類の歴史は、終焉の時を迎えると思います。なぜなら、地球上に存在する生物は、環境の変化に対応し生き延びるために、突然変異を繰り返し、少しでも遺伝子のバリエーションを増やすように努めているからです。もし人類が、自らの手で遺伝子をコントロールすることによって、遺伝子のバリエーションが少なくなる方

の変化が発生した際には、均一化された遺伝子ゆえに、生き延びられる人間はいないことになります。

された遺伝子ゆえに、生き延びられる人間はいないことになります。もし、人類は地球上に生きる生物の一員であることを忘れてはならないのです。

ナモアカーボンは医療用として最善の効能効果がある光線を放射しますが、旧来よりご愛用戴いてる燃え残しがあるカーボンとジョイント(接合)でなくカーボンがあります。

ジョイントカーボンは医療用として最善の効能効果がある光線を放射しますが、旧来よりご愛用戴いてる燃え残しがあるカーボンとジョイント(接合)でなくカーボンがあります。

「はつらつさん」には ジョイントカーボン

トできないカーボンを使い短くなつたことに気付かないとローラーから外れて飛びことがありますので、安全性を保ち、事故を未然に防ぐために絶対に使わないで下さい。

サナモア光線治療院 よりお知らせ

☆無料医療相談のご案内

サナモア光線治療院では、サナモアご愛用者の無料医療相談を受け付けます。なおサナモア未体験のお知り合いで虚弱体质や病気で悩んでいる方でもご紹介があれば無料相談に応じます。お気軽にお申し付けください。

☆「はつらつさん」

2号器の貸し出し

通院が不可能なご病人、あるいは多忙で毎日通院することが出来ない方のため「はつらつさん」2号器の貸し出しをします。

料金 一日 1,500円
カーボン代は別途
保証金 100,000円
(送料はご負担願います。)

日時 毎週水曜日
午後2時~4時(要予約)

担当 サナモア光線治療院顧問
医学博士 宇都宮 光明

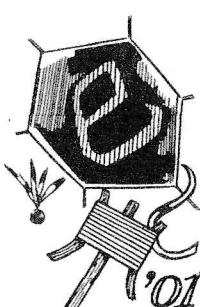
分まで自在に設定でき、ワントップスタートでカーボンを自動送りする利便性を支えます。すなわちカーボンの残りが6cm前後になつたら次のカーボンとジョイントするとスムーズに燃え移り安心して治療に専念できます。

なお「はつらつさん」にジョイントするとスムーズに燃え移ります。

ジョイントカーボンはサナモア8号器、7号器でも使えますが、燃え残しがないため却つて長時間使えホルダーを傷めませんので、価格差以上に得なカーボンとしてお勧めします。

**☆ルーフ式マルチ
アーク療法**
施設の募集

医院、治療院を経営している方で、ルーフ式マルチアーク療法



(本紙の無断転用を禁止します。)

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18
「サナモア光線協会TEL(03)3793-5218
三七一二一五三二二

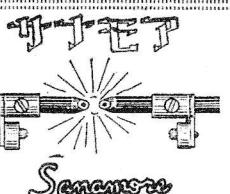
医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、季刊紙、「健康と光線」の発行。

一、季刊紙、「健康と光線」の事業を行っています。
二、サナモアカウンセラーの募集と育成。
三、サナモア光線治療師の募集と育成。



**サナモア光線協会
趣意書**